

勝興寺落慶記念コンサート
オリジナル・オラトリオ

地球のこころとゴム

勝興寺の落慶にあたり、本堂を舞台にコンサートを行います。

高岡の美しい自然と勝興寺の荘厳な空間にインスピレーションを受けて、足かけ2年を費やし制作されたポップスによるオリジナル・オラトリオが世界初演されます。

歌い手は、ヨーロッパで活躍する新湊市出身のテノール歌手 澤武紀行を中心に、高岡西高等学校合唱部および地元選抜の合唱団、加えて、東京二期会のメンバーら。

作家陣には、日本の現代文化の根幹に関わる仕事を続けてきた作曲家 矢野誠、作詩家 崎南海子を迎えました。

現代の豊かさと贅沢を手にした若者が、楽しい日々のなか、ふと雨のひとつしづくに耳をかたむける。そこから若者は地球が営む自然―海と花と光と雪―と向かい合い、自分を見つめる旅をしていく。そして若者が感じたものは何だったのだろうか。

Profile

澤武 紀行 (テノール ソロ)

さわぶ のりゆき

桐朋学園大学音楽学部演奏学科声楽専攻を首席で卒業。同大学研究科終了。木村俊光氏に師事。在学中に「友愛ドイツ歌曲コンクール」入賞。オーストリア・ザルツブルグ「モーツァルトウム音楽院」、ザルツブルグ大学人文学部音楽専攻に留学、ブルックナー音楽院オペラ科卒業。1999年、モーツァルト作曲、歌劇「後宮からの逃走」の主役ベルモンテに抜擢され、ヨーロッパオペラデビュー。姫路、名古屋、東京にてウィーンフィルハーモニーのメンバーと共演のほか、故郷新湊でアンサンブル金沢とクリスマスコンサート(エリッヒ・ピンター指揮)、ザルツブルグからの音楽使節「ガスタガー・ファミリーコンサート全国ツアー」などに出演。



矢野 誠 (作曲家・編曲家)

やの まこと

幼少より英才教育を受け、オーストラリア留学を経て桐朋学園音楽大学作曲科入学。筒美京平、はっぴいえんどらとの交流を経て作・編曲家として頭角を現し、ロック・歌謡曲・現代音楽などジャンルを越え、いしだあゆみ、南沙織、矢野顕子、ユニコーン、サニーデイ・サービスらの仕事に関わる。70年代、初めて大型シンセサイザーや和楽器、オーケストラをポップスに取り入れた功績は大きい。近年は自身のプロジェクト「あむ」で3枚のアルバムを発表、03年にはブルックナー音楽祭に参加。



崎 南海子 (詩人・放送作家)

さき なみこ

慶應義塾大学在学中にラジオの長寿番組「誰かとどこかで」の詩を書き始める。その後、ラジオ・テレビで詩や旅の番組、ドキュメントなど数百番組を担当。民放連賞などを受賞。作詞は、ミュージカルや女子国際マラソンテーマソングなど多数。日本音楽著作権協会正会員。詩集は「見えない扉をあけて」(サンリオ出版)など4冊。「誰かとどこかで・七円の唄」(朝日出版社)は永六輔と共著で7冊。その他、「鎌倉・歩きたくなる小路」(集英社be文庫)など。



駐車場に限りがありますので、会場にお越しの際は公共交通機関をご利用ください。路上駐車は迷惑となりますので、ご遠慮ください。

【お問い合わせ】

■富山新聞高岡支社 Tel.0766-23-2131
■ラジオたかおか Tel.0766-28-7000

